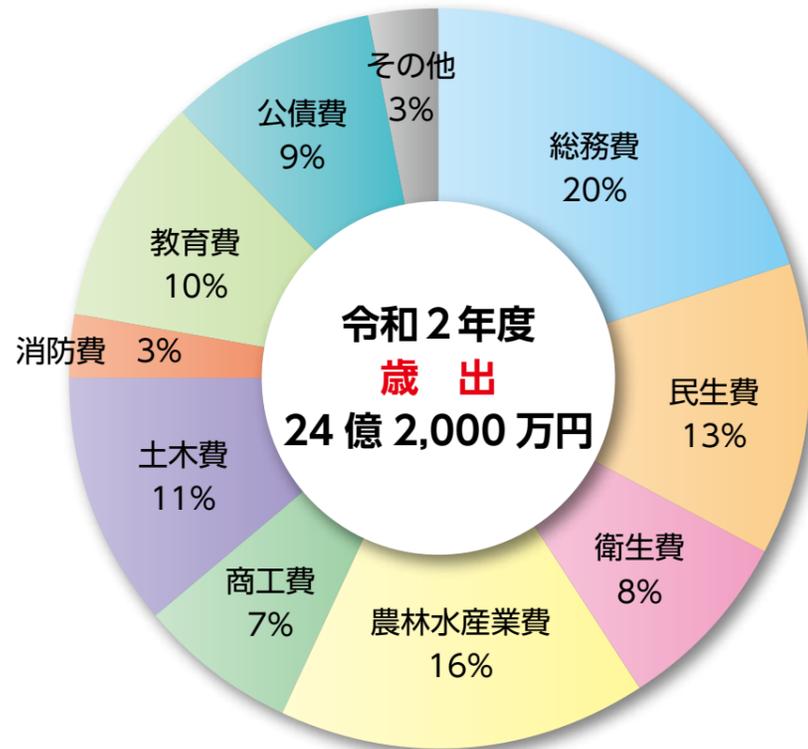


経費別の構成（歳出）

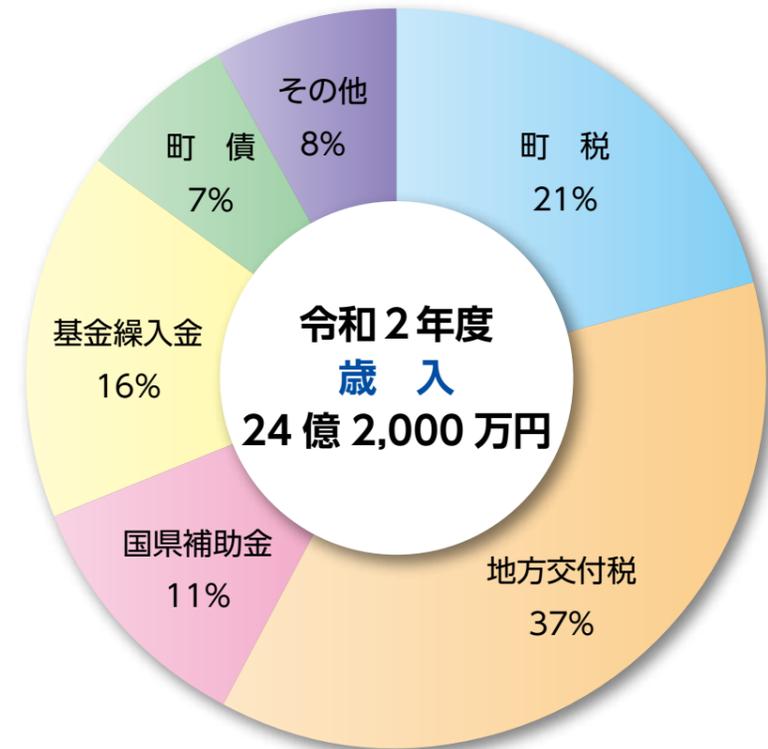


歳出

歳出の政策的事業では、木材チップ生産施設設備事業に着手するほか、公営住宅建替事業や担い手支援住宅整備事業を継続し、農地中間管理機構農地整備事業、開発センター屋上防水補修工事、電気柵の設置、除雪機やスクールバス購入事業などが実施されることから、投資的経費としては歳出総額の13.9%、3億3,591万円が計上され、産業の振興、雇用機会の確保、移住定住の促進など社会資本の充実が図られます。



財源の構成（歳入）



令和2年度予算総額 33億2,200万円

一般会計24億2,000万円・特別会計9億200万円と、前年度比1億8,960万円(5.4%)の減額となりました。

歳入

個人町民税で121万円の増額を見込む一方、ダム交付金などの国有資産等市町村交付金が684万円の減額、町税全体では576万円減の4億9,535万円が見込まれ、地方譲与税では、森林環境譲与税を前年度より2倍の1,176万円を見込み、地方交付税では普通、特別交付税を合わせ前年度と同額の9億円が見込まれました。

国庫支出金では、電気柵購入事業と木材チップ生産施設関連事業補助金などで8,055万円、土木補助金で3,426万円、地方創生拠点整備交付金2,250万円のほか、福祉関係を含め総額1億8,278万円が見込まれています。

県支出金では、民生費負担金、総務費補助金、農林業補助及び交付金を含め、総額9,020万円を見込み、基金繰入金では、財政調整基金1億5千万円を取り崩し財源の確保と収支の均衡が図られ、地方債については、過疎対策事業債や臨時財政対策債で3,200万円が見込まれました。